

YA新着ピックアップ（3/1～5/24入荷分）

このほかの新着本は、[図書館ウェブサイト](#)より、[資料検索・予約](#) [新着資料](#)にて
チェックすることができます♪

タイトル	著者 等	出版社	
17音の青春 2024	学校法人神奈川大 学広報委員会/編	精興社	高校生たちが、17文字で綴るメッセ ージ集。静岡の高校も参加しています。
<本の姫>は歌う I	多崎礼/著	講談社	少年と本に宿る〈本の姫〉の冒険ファン タジー（全4巻）。壮大な世界観に圧 倒されます。
画の悲み	国木田独歩/著 Miya/画	文研出 版	嫉妬・羨望から始まる二人の少年の成 長が、軽妙なイラストと共に描かれて います。
刑の重さは何で 決まるのか	高橋則夫/著	筑摩書 房	懲役や執行猶予とは何か、どういう基 準で刑の重さが決まるのかわかりやす く解説している一冊です。
君の物語が 君らしく	澤田英輔/著	岩波書 店	あなたの中にある記憶や感情、物語 を、楽しく文章に表現するための力を 与えてくれます。
今日から使える 心理学	文響社/編	文響社	人の心の癖や傾向がわかるようになる。 今すぐ君の武器になる、心理学の 入門書！
特殊効果技術者 になるには	小杉真起・ 山田幸彦/著	ペリか ん社	映画の歴史とともに進化を遂げてきた 特殊効果の現在とこれからをプロに聞 きます。
わからない世界と 向き合うために	中屋敷均/著	筑摩書 房	先がわからない世界の中、自分の責 任で人生の選択をして自分の人生を 生きてほしい
世界を巡る 満月珈琲店	桜田千尋/著	主婦の 友社	美しくて幻想的なメニューのイラスト& レシピ集。おなかも心も満たされます！
13歳からの自分 の心を守る練習	谷本恵美/著	PHP研 究所	悩んだ時に心を軽くするためのヒント が詰まっています。
つながる読書	小池陽慈/編	筑摩書 房	14名の執筆者が推しの1冊をプレゼ ン。本で他者とつながる面白さを感じ てみよう。

ティーンズと創る図書館情報誌



Library, Letter, Life... Lmagazine の”L”には、いろんな”L”がつまっています

静岡市立図書館 YA 担当/編集・発行

[2024] July | vol. 143

☆☆ 新着イチオシ！ ☆☆

- 『現代民俗学入門 身近な風習の秘密を解き明かす 創元ビジュアル教養+α』
- 島村 恭則／編 創元社
- ◇ 昔から伝わる伝統的な風習からネットミームまで、身近な文化を民俗学の視点からイラストや写真を使ってわかりやすく解説。
- ◇ タイトルだけを見ると構えてしまうかもしれません。しかし開いてみると、面白い見出し、わかりやすいイラスト、興味を引くコラムなど、わかりやすく読みやすい楽しめる内容になっています。何気なく行っている習慣やよく聞かうわさ話・迷信などについて、いつから、なんで、どこから、という根元の部分を掘り下げて書かれています。
- ◇ 目次を見ると「ネットミームは現代の民間伝承」、「犬小屋の歴史・ネコの社会」など面白い見出しが並んでいます。自分の興味のあるものを選んで読んでみることもでき、内容についての関連本も紹介されています。「民俗学」に初めて触れる一冊としておすすめの本になります。



（司書 シラコバト）

静岡市立図書館の情報はここから！



図書館
ウェブサイト



X
(旧 Twitter)



しずおかし
電子図書館

特集「生き物」



皆さん、生き物はお好きでしょうか？ 私は見る専門ではありますが、大好きです。図書館には、生き物に関する本がたくさんあります。図鑑はもちろん、変わった生態を持つ生き物をまとめた本や、ちょっとマイナーな動物の写真集、生き物に関する雑学を集めた本、絵本や動物が主人公の物語など、生き物の本といってもそのジャンルは様々です。今回は、生き物が好きな人は勿論、そうでない人にもぜひ！ お勧めしたい本を紹介します。様々な生き物たちを愛で、知り、その活躍を楽しんでいただけたらと思います。

『タコとイカはどうちがう？』（峯水 亮／写真、池田 菜津美／文、杉本 親要／監修 ポプラ社）

腕や脚がたくさんある、体が柔らかそう、墨を吐く、調理のレパートリーが豊富、海に住んでいる……共通点の多い二種ですが、違うところは思いつきますか？

この絵本では、写真とイラストを交え、タコとイカの似ているところと違うところを、分かりやすく紹介しています。読んだ後に、水族館や海、スーパーなどで本物を見比べてみると、楽しいかもしれません。



『黒ねこサンゴロウ I 旅のはじまり』（竹下文子／作、鈴木まもる／絵 偕成社）

もしあなたが初めて一人で電車に乗り、遠くまで出かけることになったとして、隣の席に人間と同じサイズの二足歩行の黒猫が乗り込んできて、その猫から宝探しに誘われたら、どうしますか？ 主人公の少年ケン は、フルヤサンゴロウと名乗る黒猫と共に、チラシの裏に書かれた地図を頼りに、うみねこ族の宝を探す冒険に乗り出します。最初はちょっと特別な、でも平和な日常の延長だったのに、それがふとしたきっかけでファンタジーに切り替わる物語は、主人公になりきって、わくわドキドキしながら読み進められるのではと思います。

『ケープハイラックス』（渡辺克仁／著、遠藤秀紀／監修 東京書籍）

ケープハイラックスという生き物をご存じですか？ おくおくした姿はネズミの仲間のように見えますが、イワダヌキ目イワダヌキ科、しかし実は象の仲間で、草食なのに鋭い牙を持っている、なんとも不思議な生き物です。この本では、（とっても可愛い）豊富な写真とともに、ケープハイラックスの生態についてわかりやすく説明されています。日本で飼育している施設は多くはありませんが、実は静岡県内にも飼育している施設があるんです。今年の夏は、この本で予習をしてから、ケープハイラックスに会いに行ってみてはいかがでしょうか♪

『じつは食べられるいきもの事典』（松原始／著、伊勢優史／著、ぼんとごたんだ／絵 宝島社）

牛、豚、鳥、魚、貝、甲殻類……大抵のスーパーでお目にかかる、食材として扱われている生き物は様々です。それ以外にも、イナゴ、ハチノコ、シカ、イノシシ、ナマコ……日本国内だけでも様々な生き物が食べられています。では、世界ではどうでしょう？ 日本では、食材として扱われていないだけでなく、愛玩動物として可愛がられていたり、動物園の人気者だったりする生き物も、国によってはおいしく調理されているそうです。「えっ!?この生き物も食べられるの!？」と驚くこと間違いなし！ 具体的な調理法と味も紹介されています。

『べんりなしっぱ!ふしぎなしっぱ! いきもの写真館』（小宮輝之／文・写真 メディアパル）

しっぱを持つ生き物はたくさんいます。人間にもあったら便利だろうなと思うこともあるのですが、実際生き物のしっぱには様々な役割があるそうです。枝にぶら下がったり、体のバランスを取ったり、気持ちを表したり……。動物園の元園長である著者が、選りすぐりの写真とともに、生き物のしっぱについてわかりやすく解説した本です。

